



平成30年3月23日

第126号

八代高校・八代中学校PTA会報

<http://www.yatsushirohighschool.com/>



▲ホームページ QRコード

特集1 高校卒業式

特集2 中学卒業式

- 校内長距離走大会
- 全国大会報告
- PTA表彰式および各種表彰



特集1 高校卒業式

式辞



校長 山本朝昭

厳しかった冬の寒さも和らぎ、弥生ともなれば、沃野吹く風に確かな春の訪れを感じます。今日の佳き日、熊本県議会議員 小早川宗弘様をはじめ、多数のご来賓、保護者の皆様のご臨席を賜り、熊本県立八代高等学校第七十回卒業証書授与式を盛大に挙行できますことに、卒業生はもとより、本校職員一同、心から感謝申し上げます。

八高第七十期生、二百二十七名の卒業生諸君、卒業おめでとう。また、十八年間、深い愛情を注ぎ、育てて来られた保護者の皆様、心より卒業のお慶びを申し上げます。誕生の日から、卒業の日までの、喜びやご苦労を思い出さず、感激もひとしおのことと推察いたします。

本日、卒業生の皆さんの脳裏には、三年間の思い出が次々と去来しているに違いありません。本校の門をくぐった入学式の日。新たな友と初めて言葉を交わしたときのこと。宿泊研修で出かけた雄大な阿蘇の自然。そこで初めて本校校歌「道」を聞き、合唱し、口ずさみ、歌詞とメロディーを覚えることで、八高生としての自覚を深めました。

高校二年生に進級したばかりの四月十四日、十六日未明、私たちの故郷熊本を大地震が襲いました。その後余震は止まず、大きな揺れに不安が消えることはありませんでした。混沌のなか、募金活動と呼びかけた生徒、支援物資の仕分け作業を手伝う生徒、民家の片付けに汗を流す生徒、避難所となった本校トイレの清掃をする生徒、街の復興や活性化の提言に立ち上がる生徒、なんと数多くの八高生が行動を起こしたことでしよう。八高生の若い力から生まれる復興の新しいエネルギーは、多くの人たちに勇気を与えました。

また、皆さんは八高創立百二十年の歴史と伝統を祝福するその場に立ち会おうという幸運に恵まれました。記念式典をはじめ数々の記念行事の中心となつて活躍したことも記憶に残ることでしょう。さらに、皆さんは本校がグローバル人材育成の一環としてスタートさせた、知の触発プログラム、グローバルアクションプログラムの一期生でもあります。ビジネスプランコンテストや観光プランコンテスト、即興型英語ディベートなどにも多数の生徒が挑戦し、全国大会優勝や入賞など確かな実績をあげました。活躍の舞台を全国のレベル、世界の舞台へと広げ、挑戦の機会さえあれば八高生諸君の可能性が無限であることを実証してくれました。

部活動でも、野球部の快進撃をはじめ、皆さんの活躍には目を見張るものがありました。春の県大会で準優勝した野球部は、夏の大会も準決勝まで進出し、全国の同窓生を沸か立たせました。高校総体では、団体競技でバドミントン男子、バドミントン女子、バレーボール女子、卓球男子、卓球女子、テニス女子など六チームが県大会ベスト八に進出しました。個人競技での陸上、水泳、柔道の九州大会、インターハイ出場、文化系部活動の全国総文祭出場など、見事な活躍を見せてくれました。

さて、本校進路指導部は学期に一回、進路情報誌「道」を発行しています。平成八年、本校第二十代校長山田英利先生が進路指導主事の頃、それまで名前のなかった情報誌に「道」と命名されました。当時、大学と偏差値がクローズアップされるなかにあつて、本校の進路指導は「人としての生き方」であるべきであつて、成績だけに振り回されず、これから歩むべき「道」をしっかり考え、人としての成長を促すものでありたいという思いから、「道」と名付けられました。また、八高同窓会が発行しておられる会報の名前もまた「道」と命名されています。両者とも、校歌「道」に由来し、八高三年間の軌跡とこれから進み行く未来の道を象徴しています。

校歌「道」の作詞者である詩人・小説家の耕治氏は、この八代の地で生まれ、本校の前身である県立八代中学に入学しました。実母は八歳の時に肺結核で亡くなりましたが、明るく陽気な性格の子供で、新しく義理の母を迎え、美しい八代の自然に囲まれて育ちました。八代城址のすぐ近くに住まい、水しぶきを上げる急流球磨川、古城の濠、深く沈む睡蓮の花、年古し樹齢を数え、花咲き誇る梅の花に囲まれ、幸福な家庭だったといひます。

しかし、八代中学三年生の時、父が発病しました。実母と同じ肺結核です。父が亡くなり、その週間後、現在の熊本大学である五高に通っていた二番目の兄もまた肺結核で亡くなりました。母と父と兄を肺結核で失いました。

友達や遠のいていきました。学校で口をきくものはいなくなりました。陽気で明るかった少年は、陰気で無口な少年へと姿を変えました。長男の兄も亡くなると、「うつる」と差別され、十七歳の時、逃げるように八代の地を離れました。熊本市内へ引越した、そののち上京し、詩人、小説家となりました。

戦時中、義母と妹をも亡くしました。そのような境遇にあつて、戦後の昭和三十一年、本校にゆかりの深い著名な作家として校歌の作詞を依頼されました。つらい思い出しかなかった故郷、しかし、三十数年の時を経て、脳裏に甦つたのは、少年時代に囲まれて育った、雄大な八代海、球磨川、八代城址の美しい風景でした。それは、悲惨でつらいだけの記憶ではなく、幼少期を自由に過ごしていた幸福だった。時期の記憶を甦らせるものだったので、耕治氏は自然の美しさを一番と二番の歌詞に込め、生きることのメッセージを三番の歌詞でうたっています。故郷の美しい情景を回顧し、豊かな自然の恵みを享受して学ぶ後輩に対して、高い志と理想を抱いて誠実に勉学に励めよ、という真摯な想いが伝わってきます。

氏は後日、エッセイのなかでこう述懐しています。「八代城址にはお宮があつたが、参道の両側は桜並木で季節になると桜花のトンネルだった。お濠の紅や白の蓮の花が美しかった。歌詞を作るため努めて思い出す必要はなかった。眠っていたものが醒めたにすぎない。作っているとき幾度か字は涙でかすんだ。人生の不思議さを今更感じた」。

故郷とは、きつとそのようなものです。一度は訣別を誓った故郷。しかし、作詞をきっかけに過去の苦しみを乗り越え、新しい自分を見つけたのです。故郷は、幾多の苦難があろうとも、強い気持ちで乗り越える勇気を与えてくれるのです。「世の荒波狂うとも 真理は曇らじ つねに育て鍛えてぞ 辛苦を超ゆる」のです。今旅立つ卒業生の皆さん、八代高校を卒業しても、たとえ故郷を離れたとき、大いに励まされるに違いありません。皆さんが決めた道、目の前に開かれた筋の道を、逆風を順風とするが如きしなやかさと、逆風を楽しむが如き逞しさを持つて、一歩一歩、歩んでください。そして、今日高らかに校歌「道」を謳いあげてください。



最後に、保護者の皆様。あの誕生の日、あの日生を受け、生命の奇跡に感動し、注がれた溢れんばかりの愛情によつて、少しずつ、確かな成長を遂げた我が子の今日の晴れ姿です。幼少の頃からのめくるめくる思い出も、思ふことなく、感激も止みません。子や孫の親の気持ちも永遠に終わることはありませんが、卒業という名の旅立ちには、十八年間愛情を注いだことへの大なる祝福です。我が子の晴れ姿は、親である御自身の晴れ姿でもあります。心からのお祝いを申し上げます。

名残は尽きませんが、旅立ちの日の今日、卒業生諸君の未来に限りない期待を寄せ、一途の道を力強く歩まれんことを念じて、式辞といたします。

友達が遠のいていきました。学校で口をきくものはいなくなりました。陽気で明るかった少年は、陰気で無口な少年へと姿を変えました。長男の兄も亡くなると、「うつる」と差別され、十七歳の時、逃げるように八代の地を離れました。熊本市内へ引越した、そののち上京し、詩人、小説家となりました。

祝 辞



鳳凰となり、夢に羽ばたけ!

P T A 会長 今田史昭

熊本県立八代高等学校 第七十
回生二百三十七名の皆さん、ご卒業
おめでとございます。

三年前、将来の夢や希望を胸に抱
き、「八高生」として入学してしまし
た。昨年度に百二十周年を迎えた学
校です。長い歴史と伝統を目の当た
りにし、勉学にも部活にも力を入れ
てきた学校生活とも本日でお別れで
す。高校三年間、この学び舎で過し
た日々はいかがでしたか。

高1の時には、ヤマト運輸高校生経
営セミナーにおいて全国優勝、フイリ
ピンシンガポールの高校生とチームを
組み、旅行ビジネスプランを作り上
げ、英語でのプレゼンテーションに磨き
をかけて臨んだ国際大会では全国4
位、即興型英語イベントでも全国大
会に出場しました。高2の時には、金
融経済をテーマにしたエコノミクス甲
子園において全国大会出場、八代市
長と市民とのテーマトークin八高を



実現し、自
分の意見を
きちんと市
長に伝えた
りもしまし
たね。この
ように八高
が取り組む
「グローバル
アクション・

プログラム」の実績を残してくれまし
た。そして、高3の時には、全国高等
学校野球選手権大会熊本大会におい
て、三十九年ぶりにベスト4進出を果
たし、私達に感動を与えてくれまし
た。夢実現に向けて頑張った三年間
は、君たちにとって、全てが素敵な財
産となることでしょう。無限の可能
性を秘めた君たち一人ひとりの更な
る成長を楽しみにしています。

明日から君たちは、次のステップに
向けて動き出します。また、鳳凰と
なつて旅立ちますので、責任感をもつ
て生活していただく。どんな場
面に直面しても、八高で培った学びを
基礎に、自分を信じて進んでくださ
い。しかし、壁にぶつかった時や辛い時
は、一人で悩まず、私達保護者を頼つ
てください。仲間を頼ってください。よろ
しく願います。

保護者の皆様、お子様のご卒業お
めでとございます。立派に成長し
た我が子を前に、感慨も入の事と思
います。子供達は、明日から鳳凰と
なつてこの学び舎を旅立ちますが、私
達にとつてはまだまだ鳳雛です。自立
の道を歩む我が子をしっかりと見守つ
ていきましょう。それから、PTA活動へ
も積極的にご協力いただきました事に
、心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、校長先生を
はじめ諸先生方、そして御来賓の皆
様方、今まで子供達を温かく見守り
続けてくださったこと、心より感
謝申し上げます。まだまだ未熟な鳳
凰ですので、私達保護者とともに支
えていただけると助かります。お世
話になりました。

さあ、卒業生の皆さん、鳳凰として
大きく羽ばたくときです。不撓不屈
の精神で、翼を広げ、将来の夢に向
かつて頑張ってください。君たちの成
功を心から祈念いたしまして、私の祝
辞といたします。

謝 辞



保護者代表 有田好次郎

本郷智子

本日、八代高校を巣立っていきます
卒業生、二百三十七名の保護者を代
表いたしまして、一言お礼申し上げます。
す。

随分と春めてきた今日の良き
日。子供たちのために厳肅で盛大、ま
た、心のこもった卒業証書授与式を挙
行していただき、誠にありがとうございます。
保護者一同心よりお礼申し上
げます。

また、来賓の皆様方におかれまし
ては、公私ともにお忙しい中、ご臨席
を賜り誠にありがとうございます。

皆様方からいただきました心温ま
るお祝いや励ましのお言葉は、子供た
ちの胸に深く刻まれたことと思いま
す。

昨年、創立百二十周年を迎えた伝
統ある八高で、学び、鍛え、戦ってきた
この日々は、これからの子供たちの人
生を生きていくためのかけがえのない
三年間であったことでしょうか。

また二昨年は熊本地震を経験し、
不安な日々を過ごすこともありまし
たが校長先生をはじめ諸先生方の
温かくも厳しいご指導とともに、寄
り添っていただけたおかげで、力強く
立ち直り、勉学やスポーツに改めて打
ち込むことができるようになりました。
私たち保護者は八代高校で学べ
て本当によかったと感謝しております。
す。

校長先生から卒業証書を
いただいた子供たちの姿に万
感の思いが迫つてまいりまし
た。無事卒業できた安堵感
といよいよ親元を離れ巣立
ちの時を迎えた寂しさと心
配で胸がいっぱいになりまし
た。

しかし、同時にこの三年間
で心身ともに成長した姿は
清々しく、心から誇りに思い
ます。

今日から、この八代高校で
学んだすべての知識と鍛え
た精神と体力を持って、新た
なステージへと旅立ちます。

たまには、壁に打ち当た
り、涙したり、苦しむことも
あるかもしれません。弱音
を吐きたくなることもたく
さんあるでしょう。しかし、こ
れからは自分自身の力で一歩
ずつ切り開き、大きな夢に向
かつて計画を立てて実行して
いくことを私たち保護
者は心から祈っています。

誠に勝手なお願ひではござ
いますが、子供たちが迷った
とき、躓いたとき、諸先生方
におかれましては、人生の一
先輩としてご助言、ご指導い
ただけましたら幸いに存じ
ます。

結びに感謝の言葉は尽き
ませんが、これからの八代高
校のますますのご発展とご
来賓の皆様、校長先生をは
じめ諸先生方のますますの
ご健勝とご活躍を祈念いた
しましてはなほだ簡単では
ございませんが、お礼の言葉と
させていただきます。
三年間誠にありがとうございます。
ございました。

高校3学年 コサージュ作り

2月28日(水)、セミナーハウスにてコサ
ージュ作りを行いました。参加された多くの
保護者の方が、高校を卒業する子どもたち
とお世話になった先生方のために、心を込
めてコサージュを作ってくださいました。



受験激励 ぜんざい会

昨年12月26日(火)、高校3年の各
教室にて、「受験激励ぜんざい会」
を行いました。学級委員と本部役員
の方が作った「ぜんざい」を受験で
頑張っている子どもたちに振る舞う
と、みんなとてもおいしそうに食べ、
何杯もおかわりをしてくれました。
ご協力くださった学級委員と本
部役員の方へ感謝するとともに、子
どもたちの今後の活躍を期待して
います。



平成30年度入試 上級学校 合格一覧

平成30年3月13日判明分

東大に2年連続で合格!今年度も充実の結果

3月13日現在で、国立大学前期試験の発表が出そろいました。今年度卒業の70回生諸君も、自分の将来の夢を堅持しながら入試に立ち向かいました。結果は以下の表をご覧ください。

特筆すべきは、今年度も東京大学に1名の合格者が出たことです。東大の合格が複数年続いたのは17年ぶりです。加えて国立大学の入試では、難関の医学部医学科に1名、九州大学には8名、地元熊本大学には22名が合格しました。私立大学についても難関大をはじめ、関西地区や九州地区に多数が合格しました。

国立大後期日程試験を含めた最終結果は今月下旬に出そろいます。すべての結果の確定版は、本校ホームページにてお知らせしますので、ご覧ください。

■ 国立大学

大学名	現役生 合格(推・AO)	卒	計
1 筑波大		1	1
2 東京大	1		1
3 東京藝術大	1		1
4 東京学芸大	2 (1)		2
5 信州大	1		1
6 大阪大	1		1
7 大阪教育大		1	1
8 和歌山大	1		1
9 岡山大		2	2
10 広島大	1	1	2
11 山口大		1	1
12 高知大	1		1
13 九州大	6 (1)	2	8
14 福岡教育大	3		3
15 佐賀大		2	2
16 長崎大	1 (1)	1	2
17 熊本大	18 (12)	4	22
18 宮崎大	4		4
19 鹿児島大	8 (2)	3	11
20 琉球大	1		1
合計	50 (17)	18	68
* 国立大医学部医学科	1		1

■ 公立大学

大学名	現役生 合格(推)	卒	計
1 神戸市看護大	1 (1)		1
2 県立広島大	1	1	2
3 山口東京理科大	1		1
4 山口県立大	1 (1)		1
5 北九州市立大	2 (1)		2
6 福岡県立大	2 (1)		2
7 福岡女子大	1		1
8 長崎県立大	1		1
9 熊本県立大	9 (2)	1	10
10 宮崎県立看護大		1	1
合計	19 (6)	3	22

■ 私立大学

大学名	現役生 合格(推)	卒	計
1 城西大	1		1
2 国際医療福祉大	1	1	2
3 工学院大		4	4
4 芝浦工大		1	1
5 中央大	2	4	6
6 津田塾大	1 (1)		1
7 駒沢大	1		1
8 東海大	6		6
9 東京理科大	1	4	5
10 東京農大		2	2

大学名	現役生 合格(推)	卒	計
11 東京都市大		4	4
12 慶応義塾大	1 (1)		1
13 東洋大		2	2
14 法政大	1 (1)	2	3
15 明治大		1	1
16 早稲田大	1 (1)		1
17 東京薬科大		2	2
18 東京電機大	2	2	4
19 獨協大	1		1
20 明治学院大	1		1
21 神田外語大	1		1
22 星薬科大		1	1
23 帝京大	1		1
24 日本大		2	2
25 金城学院大	3		3
26 東海学園大	3		3
27 同志社大	1	2	3
28 立命館大	1	4	5
29 京都橘大	1		1
30 近畿大	1	5	6
31 大阪工大		3	3
32 関西学院大	1	2	3
33 甲南女子大	1		1
34 奈良大		1	1
35 流通科学大		1	1
36 岡山理科大	1	1	2
37 倉敷芸術科学大	1		1
38 福山大	1		1
39 広島経済大	1	1	2
40 広島国際大	4 (2)		4
41 九州国際大	2		2
42 九州女子大	2		2
43 九州産業大	1		1
44 久留米大	5	2	7
45 久留米工大	3		3
46 西南学院大	11 (4)	3	14
47 筑紫女学院大	2		2
48 西南学院大	4		4
49 中村学園大	4	2	6
50 福岡大	21 (1)	9	30
51 福岡工大	1	1	2
52 福岡学院大	2		2
53 純真学園大	5		5
54 西九州大	1		1
55 長崎国際大	2		2
56 熊本学園大	32 (2)		32
57 崇城大	27 (3)	2	29
58 尚綱大	4 (1)		4
59 九州ルーテル大	3	5	8
60 九州看護福祉大	13 (1)		13
61 熊本保健科学大	18 (3)		18
合計	205 (23)	76	281

■ 短期大学等

大学名	現役生 合格(推)	卒	計
1 西南女学院短大部	1		1
2 中村学園短大部	1 (1)		1
3 尚綱短大部	3		3
4 鹿児島女子短大	1		1
合計	6 (1)	0	6

■ 準大学

大学名	現役生 合格(推)	卒	計
1 防衛大学校		1	1
2 水産大学校	1		1
合計	1	1	2

■ 総計

校種名	現役生 合格(推)	卒	計
国立・公立大	69 (23)	21	90
私立大・準大・短大	212 (24)	77	289
合計	281 (47)	98	379

■ 専門・専修学校

系統名	現役生 合格(推)	卒	計
高等看護学校	5 (1)	1	6
医療系	1		1
県立技術短期大学校	1		1
その他	5 (3)		5
合計	12 (1)	1	13

■ 就職・公務員

系統名	現役生 合格(推)	卒	計
1 水俣芦北地区消防	1	1	1
2 国家初級税務			1
3 民間企業就職	1		1
合計	2	1	3

*東京大学合格者：文科Ⅲ類。

*国立大医学部医学科合格者の内訳は、琉球大学。



特集2 中学卒業式

式辞



校長 山本朝昭

日に日に、陽の光が力強さを増し、自然のたくましい息吹を感じる今日の佳き日、熊本県議会議員 小早川宗弘様、熊本県議会議員 高野洋介様をはじめ、多数の御来賓、保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに熊本県立八代中学校、第七回卒業証書授与式を挙行できますことを、心から感謝申し上げます。

只今、卒業証書を授与されました、七十八名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。



皆さんは、本校での三年間、様々な場面で活躍を見せ、大きく成長しました。最上級生となった今年度だけでも、中体連の各種目で入賞を果たし、陸上競技大会では女子が団体で三位入賞、高校生と合同チームで参加した合唱部は全国大会に出場しました。科学の甲子園でも県大会で優勝し、全国大会進出。全国の中学校の先駆けとして始めた即興型英語ディベートでは、この春大阪で開催される第二回全国中学生大会に、チーム七名が出場を予定しています。このように、この八代中学校には、全国の舞台で活躍する仲間がたくさんいるということ自体、皆さん一人一人に切磋琢磨の刺激を与えています。クラスメートの活躍は、自分にもやれるのではないかと、自信を生み、八中生がさらなる可能性へのチャレンジに挑む姿は実に頼もしく映ります。

さて、先日の平昌冬季オリンピックでは、多くの日本人選手たちが、世界の大舞台で華々しい活躍を見せてくれました。とりわけ男子フィギュアスケートの羽生結弦選手は、華麗で芸術的な演技を見せ、見事金メダルを獲得し、世界中から賞賛を集めました。しかし、その栄冠の陰で、羽生選手は数々の苦悩と挫折を経験していました。病気やけがに何度も泣かされ、東日本大震災では被災し、スケート自体を辞めてしまいたいと思っていました。その度、その強い精神力で立ち直り、そして技術を向上させ、素晴らしい成績を残してきたのです。

この強い精神力を培ったのは、羽生選手が高校一年生のときに経験したカナダでの海外留学でした。慣れない環境での生活はストレスも多く、最初



は英語も満足にしゃべれなかった状態でしたが、積極的に周囲とコミュニケーションを取るよう努めることで何とか乗り越えることができたそうです。この異文化での生活によって、広い世界を目の当たりにし、スケートの技術だけでなく、幅広い人間性と卓越した表現力を身につけていったのです。世界中の人々にアピールする彼のスケートの魅力は、このようなグローバルな体験で培われたものだったのです。

皆さんが学んだ本校独自の授業である「対話力」は、このような広い視野を身に付けてもらいたい、世界のどこでも通用する力を身につけてもらいたい、そうした願いを込め、始めたものでした。考え方や価値観の違う相手の話を聞き、その相手へ自分の考えを論理的に伝えたりする対話を通じて、人間の度量を広げ、異文化と共存する態度やしつかりした思考力と表現力を養う、それがこの授業の狙いでした。

古代ギリシアの時代から、対話は真の知恵を身につけるための重要な方法として考えられてきました。哲学者ソクラテスも、アテネ市民たちと徹底した対話を行いました。対話を繰り返すうち、相手はやがて、重要なことについて自分は何も知らない、という自覚を持つまでに至ります。この時、人ははじめて真の知を求めるようになる、とソクラテスは考えたのです。言い方を変えれば、自分は無知なのだ、という事態に直面しない限り、人は真の知を求め、努力をしないと、いえません。

本校では、皆さんに、「この「無知の自覚」を持つてもらいたかった。自分にはまだ知らない広い世界がある。その未知の世界に積極的に「自己」を開き、異なる文化を持った者との対話を通じて自分を変容させていく。この対話の後に、時代や地域を超えた普遍的な

知識、つまり知恵を身につけることができるのです。

本校が考えるグローバルな人間とは、まさにそのような普遍的な能力を備えた存在のことです。どのような場所でもどのような環境でも、自分の考えを自分の言葉で語り、困難を克服しつつ、問題の解決に尽くすことができる力。この能力の養成のために、皆さんは、英語ディベートや英語ビブリオバトル、経営シミュレーションプログラムであるM.E.S.Eなど、全国のどの中学校でもやっていないような多様な活動に取り組んできました。さらに、本校が展開する「知の触発プログラム」と「グローバルアクションプログラム」などの活動を通じて、国際感覚や異文化理解の素地を身につけてくれた、ことと思います。

今後社会は、人物・情報が国境を越え激しく行き交うグローバル化がより一層進展していきます。皆さんが社会の第1線で活躍する時に、押し寄せるグローバル化の波に流されてしまいうことなく、確固たる自己を持ち、国や地域、そして国際社会に貢献できる人間になってもらいたいと切に願っています。

保護者の皆様、お子様のご卒業誠におめでとうございます。十五年前、お子様の誕生のあの頃、韓流ブームが始まりヨン様がとてもやられました。サッカーワールドカップ・日韓大会が開催され、トルシエジャパンは決勝トーナメントに進出しました。東京の多摩川にはアゴヒゲアザラシが出現し、タマちゃんの名前で親しまれました。音楽ではS.M.A.Pの「世界にひとつだけの花」が大ヒットしました。

そんな時代、確かに、それぞれのご家族のもとに、「世界にひとつだけの小さな花」が咲きました。あれから十五年、赤ん坊だったお子様が、あれの時よりも大きな花を咲かせました。

生懸命に咲かせようとして、咲いた花。頑張って咲いた花だから、どれもきれいです。「世界にひとつだけの花」がえのない花、「特別なオンリーワン」の花。いま、お子様の顔を脳裏に浮かべられ、皆様の感慨もひとしおのことと拝察いたします。

卒業生の皆さん、皆さんが咲かせた色とりどりの花は、どれもきれいです。小さい花、大きい花、誰も気づかない場所でも咲いた花も、もともと特別なオンリーワン。今日咲かせた花は、ご家族の方の十五年間の惜しみない愛情を栄養分として育ちました。だから卒業の日の今日、感謝の気持ちを「ありがとう」という言葉で、心を込めて伝えてほしいと思います。

これから、全員が八代高校へ進学し、新たなステージで、無限の可能性を発揮してくれることと思います。私たちが、皆さんの学びの日々を全力で支援していきます。皆さんの新たな「道」への歩に、大きな期待を込めて、式辞といたします。



祝 辞



可能性は無限大

PTA会長 今田 史昭

本日卒業を迎えられる七十八名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

先程の卒業生入場を見て、三年前の入学式の時、私は広報委員長として写真を撮っていたのですが、君たちの緊張しながらもワクワク感たうぶりの表情を思い出していました。本日は緊張しながらも安堵感たうぶりのいい表情での入場でしたね。きつと楽しい中学生活だったのだろうと思いますがいかがでしたか？

八代中学校での三年間は、これからの君たちの人生の中で鳳雛としての土台作りの一部になっています。八代中学で学んだ「グローバルマインド育成プログラム」を活かして、「信頼できる友達」を大切にしながら、八高でも頑張ってください。まだまだ、土台作りの途中ですので、鳳凰となつて飛び立つまでは、勉強し続けて、大きな夢を抱き、あらゆることに積極的に挑戦してください。君たちの可能性は無限大です。更に上をめざし、常に意識を高めて、土台作りをしていきましょう。

君たちは義務教育が終わったことで、自己責任の重さが倍増します。自分がとった行動に対しては、自分が責任を取る！という覚悟をもって明日から生活してください。どうしても困ったことが起きたときは、私たち

保護者に必ず相談してください。何か起きてからでは遅いので、よろしくお願ひしますね。語る事と伝える事は、コミュニケーションでは大切な事であり基本です。今まで以上に、親との会話を増やしてください。進路決定では親との会話は不可欠です。約束ですよ。

保護者の皆様、本日はお子様の卒業本当におめでとうございませう。また日頃よりPTA活動にご理解とご協力をいただいておりますことを、心から御礼を申し上げます。

先ほどお子様にも言いましたが、保護者からも話しかけてください。聞いてあげてください。今まで以上に触れ合ってください。お願いします。ただし、甘やかさないでください。自己責任の重さも学ばせてください。よろしくお願ひします。

最後になりましたが、校長先生をはじめ諸先生方および来賓の皆様、三年間子どもたちを温かくお導きいただき、ときに我慢強く見守り教育してきてくださったことを、PTAとして、また一人の親として、心から感謝いたします。誠にありがとうございます。どうぞ今後とも変わらぬ愛情とご支援をいただきますようお願い申し上げます。PTAを代表しての祝辞とさせていただきます。



謝 辞



保護者代表 萩野 賢志

井上 恵美子

僭越ではありますが、本日、卒業を迎えることができました卒業生の保護者を代表致しまして、校長先生始め、諸先生の皆様に謹んで御礼の言葉を述べさせていただきます。

本日は、子どもたちのために、厳粛かつ盛大な卒業証書授与式を挙行していただき、誠にありがとうございます。保護者同、心よりお礼申しあげます。

また、ご来賓の皆様におかれましては、公私共にお忙しい中、ご臨席を賜りまして誠にありがとうございます。皆様からいただきました、心温まるお祝いのお言葉や励ましのお言葉は、卒業する子どもたちの胸に、深く刻まれたことと思います。

こうして子ども達の顔を見ておりますと、三年前、大きな期待に胸をふくらませて、あこがれの八代中学校の入学式を迎えたのが、つい先日のことのように思い出されます。あのときは、少し、大きな制服に身をつつみ、まだあどけなさが残っていた子どもたちも、すっかり立派に生長した姿を見て、目頭が熱くなる思いが致しております。

また、入学時には、各方面から集まってきたため、知り合いも少なく、他の中学校とは異なる新たな環境の中、不安を抱くことも少なくなかったと思います。

しかし、すぐに友人にも恵まれ、先生方にご指導をいただき、それぞれが目指す目標への歩みを支えていただいたことは、まさに感謝の思いであります。

これから新たなステージに上がる、卒業生の皆さん、卒業証書を手にして、どのような思いが胸に溢れているか。様々な思いがあるとは思いますが、私たちは、頼もしく立派になった皆さんの姿を誇らしく感じます。

それは、八代中学校という素晴らしい環境の中で、勉強やスポーツ、芸術に取り組めたからです。

鳳雛祭体育の部、文化の部、そして中体連等、みんなで協力して頑張る姿は輝きを放ち、私たち保護者にくくさんの感動を与えてくれました。

そういつ中でも、時には友達と意見がぶつかり、悩んだこともあったでしょう。相手の事を理解し、自分の気持ちを伝えることは簡単ではありません。そんな時でも、コミュニケーション、話し合いを重ね、また相手を思いやる心で、皆さんは乗り越えてきました。人間関係を築いて行くうえでこの経験は、最も重要なことだと思えます。これからも、人間関係を大切にしながら、さらなる高みを目指してください。

これから皆さんは、嬉しいこと、悲しいこと、成功や挫折を繰り返すことと思えますが、全ての経験が自分の成長の糧となります。今はまだ実感としてとらえることは難しいかもしれませんが、実感できる時が必ず来ます。これからも八中プライドを持って、自分の力を信じ、力強く、そしてまっすぐに、それぞれの目指すべき道をしっかりと歩んで、充実した高校生活を過ごしてください。

卒業とは申しまでも、春からもこの校舎で学び、先生方ともお会いする機会があります。

中学校3学年 コサージュ作り

2月2日(金)の夜7時より、中3学年の保護者の皆さんとセミナーハウスにてコサージュ作りを行いました。和気あいあいと楽しい雰囲気の中で作業する事ができました。いつも快くお手伝いしてくださる学級委員の皆さんを始め、保護者の皆さま、ありがとうございました。



これからも、鳳凰へと成長する過程で道半ばといった子どもたちでありますので、高校での三年間、先生方や職員の皆様には、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。まずは中学校での三年間、先生方の親切なご指導と有り難いご厚情に対しまして、感謝を申し上げます。最後に、八代中学校の益々のご発展と、校長先生を始め、諸先生方、また本日ご臨席賜りましたご来賓の皆様のご健勝とご多幸を、心よりご祈念申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。

平成29年度 校内長距離走大会

保健体育委員長 平田 太一



1月20日(土)に校内長距離走大会が開催されました。暦の上では『大寒』でしたが、天候にも恵まれて長距離走をするのには良い気候だったと思います。今年度は、三学期の開催により高校三年生が不参加で人数的に少さみしい気もしましたが、昨年度よりも人数が少なかった分、一人一人の走りが目立っていたように感じました。見守る先生方や保護者の方々から送られる声援や拍手に対して、生徒たちは額に汗を浮かべながらの力走で応えてくれました。会場は、八代運動公園陸上競技場とその周辺の道路を一部規制した中で行われましたが、準備やコースの警備にあたっていただいた先生方、同様にコースの警備と生徒

たちへの給水活動を行っていただいたPTA役員とクラス委員の方々など、多くのご協力をいただいたおかげで、大きな事故やトラブルもなく無事に終わることができました。ご協力いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。

全国大会報告

高校生即興型英語ディベート全国大会 健闘13位!!

12月23日(土)・24日(日)東京大学生産技術研究所で第3回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会が行われ、本校2年生3名(金橋さん、栄さん、鶴山さん)の1チームが参加しました。全国の強豪64チームが参加して、レベルの高い大会でしたが、本校チームは大健闘してくれました。

予選ラウンドは4試合のリーグ戦で行われ、勝率と評価ポイントの高い8チームが翌日の決勝ラウンドに進出できるようになっていました。本校も4試合行い、接戦が多い中、3勝1敗の13位と大健闘し、頑張ってくれました。また、第2スピーカーの金橋さんは、ベストスピーカーを3回獲得し、本大会ベストスピーカー第3位の表彰を受けました。



2年6組 金橋 毬乃

私は昨年の12月に東京で行われた全国PDA即興型ディベート大会に出場しました。

大会では出されたお題に対して否定と肯定に分かれ即興で議論して勝敗を決めました。結果は3勝1敗と全国で13位でした。

1ヶ月程しか練習期間がない中、3人それぞれの役割を全うしこのような好成績を残すことができました。また、他県の高校とも交流を深めることが出来て自分の英語力の向上以外にもとてもいい経験になりました。

全国大会 優勝!!

TTBiz 2017 で八高生のチームが 1st Prize を獲得しました。

TTBizとは日本と海外の高校生と一緒にチームを組んで観光資源を開発、旅行プランを作成し、それらを競い合うコンテスト。本年度は全17チームが参加して開催されました。本校からは高校1年生4名がフィリピン、シンガポールの高校生とチームを組み、約半年間かけて旅行ビジネスプランを作り上げ、3年連続で最終審査会進出を決めました。そして、1月21日(日)東京で行われた最終審査会において、見事に First Prize を獲得、悲願の初優勝を決めました。表彰式の後には参加生徒、主催者の方々との懇親会もあり、同じコンテストを競い合った仲間同士、楽しく交流をすることができました。



2月28日(水) PTA表彰式 および各種表彰

表彰者一覧

※ 氏名順不同。()内は組。2月28日(水)表彰済み。

PTA賞

田上 裕貴(4) 今田 彩香(4) 坂川 舞(4)

同窓会賞

武澤 里穂(1) 橋本 信朗(4) 緒方 空澄(6)

熊本県がんばる高校生表彰

丸尾 英彰(2)

熊本県高等学校体育連盟賞

丸尾 英彰(2) 陸上競技部 松下 達哉(2) 弓道部
 富崎 脩(4) 水泳部 宮崎 雄也(4) 柔道部
 坂本 浩二(5) 陸上競技部 林 凌平(5) 陸上競技部
 緒方美沙希(6) 水泳部 淵上 璃子(6) 陸上競技部

熊本県高等学校野球連盟賞

福島 健介(6)

熊本県高等学校文化連盟文化功労賞

武澤 里穂(1) JRC部 松村 安莉(6) 放送部

熊本県高等学校教育研究会図書館部会長賞

米本 龍人(4) 後藤佐和子(4) 和田麻友子(4)
松村 莉咲(5)

熊本県吹奏楽連盟功労賞

東 みゆき(6)



熊本県高等学校保健会長賞

宮本 佳奈(6)

3力年間皆勤賞(46名)

代表 鶴野 茉依(3)

1組 江崎 大和 小堀 光輝 宇土 和奏
 岡村 依咲 高野 智尋 谷崎 美音
 西田 七海 野々口まひろ

2組 西垣 昭一 堀内 凌太 入田 乃愛
 林 未奈子

3組 有田 竜清 本田 智揮 金縄 芽依
 川邊 実央 川村 詩菜 田上 美和
 鶴野 茉依 村岡 季音

4組 家田 晶成 黒川 大地 安田虎太郎
 湯上 貴文 五十嵐祐依 今田 彩香
 岩本 紗英 桐谷 知奈 坂本 美優
 笹尾光由妃 田上 知佳 林田 真奈
 本郷 彩子 松出 莉子 山口 玲奈

5組 加来 朋也 柴田 莉子 中 まゆか
 橋本 遥香 増田 美麗

6組 泉 航世 上村 壮摩 平崎 暉基
 古閑 美岬 東 みゆき 宮本 佳奈

同窓会代表幹事(男子2名・女子2名)

橋口 賢一(3) 蓼田 おうか(6) 野尻 桃子(3)
上村和歌子(5)



編集後記

広報委員長 米村 和歌子

桜の便りがきかれる今日この頃、時の流れの早いことと驚いています。
 1年間広報誌発行において、様々な行動に参加することができ、また色々な事を学ぶ機会がありました。これからも、ぜひとも皆様方にはPTA活動に積極的に参加していただき、先生方と連携を益々強化されることを望みます。紙面作りにご協力いただきました、先生方保護者の方々には、本当にお世話になりました。心よりお礼申し上げます。1年間ありがとうございました。